



台風 21 号関連 記者会見要旨（2018 年 9 月 8 日）

関西エアポート株式会社 代表取締役社長 CEO 山谷佳之と代表取締役副社長 CoCEO エマヌエル・ムノントは本日 15 時に記者会見を行い、以下を発表しました。

記

【航空便】

- 本日、第 2 ターミナルビルで 55 便を運航いただいている。
- 出発・到着 合わせて、Peach 43 便、JAL2 便、ANA 2 便 旅客便 計 47 便。
- 出発・到着 合わせて、FedEx 貨物便 計 8 便。

【アクセス】

- 昨日 7 日空港連絡橋において、車両の対面通行ができるようになった。片側通行が解消し、渋滞は緩和される見込み。
- 鉄道も JR・南海電鉄とも、「りんくうタウン駅」まで営業再開している。
- 臨時シャトルバスも、本日より「りんくうタウン駅」から朝 6 時から夜 24 時まで運行している。
- バス会社によるリムジンバスも、現在 16 路線が運行されている。
- 神戸ベイシャトルは、7 日から通常運航に戻っている。
- 空港内駐車場に駐車いただいているお車の出庫が 7 日から 10 時～16 時の間、可能になりました。詳細はこちら→ <https://www.kansai-airport.or.jp/notices/2632>

【第 1 ターミナルビル】

- 第 1 ターミナルビルの部分的再開は 1 週間以内の見込み。
- 被害の少ない南側の作業を進めている。地下部分はほぼ排水が完了している。

【A 滑走路】

- A 滑走路はポンプ車を使った排水を行っている。
- パイロットの目視により離着陸することは可能な状態。

【貨物地区】

- 貨物地区は被害が大きく、状況確認を終え、今朝から補修を開始。
- FedEx の貨物便が、B 滑走路を使い、本日再開したのは大変喜ばしい。

【ライフライン】

- ガスと温熱・冷熱は昨日 7 日に復旧した。
- 関西空港では空港内でごみの処理を行っているが、昨日焼却炉の正常稼働を確認。
- これらにより、空港内のホテル日航関西空港も通常営業へ移行中。

※本日、大阪国際（伊丹）空港において、通常の 370 発着便に加え、臨時便が発着しました。

出発便（7 便）：ANA 3 便、JAL4 便

到着便（9 便）：ANA4 便、JAL5 便 合計 16 便

以 上

関西エアポート株式会社
企画・管理部 広報・ブランディングチーム



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: <http://www.kansai-airports.co.jp/> をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノント		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964 年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971 年の香港進出を皮切りに世界 38 カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、36 空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス、ポルトガル（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア、日本、ドミニカ共和国、チリ、そしてブラジルの空港には、合計で 200 社を超える航空会社が就航し、2017 年の旅客者数は 1 億 5,660 万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1 万 2,000 人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。

2017 年の連結売上高は 14 億ユーロ、グループ全体の売上高は 32 億ユーロ（関連会社含む）に達しました。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

KIX早期復旧計画

Early recovery plan in KIX

Sept. 8, 2018



Shaping a New Journey



**KANSAI
AIRPORTS**

早期復旧計画の進め方

復旧 ステータス	① 緊急供用	② 暫定供用	③ 本格供用
時期	2018年9月7日 (台風被害発生後 3 日)	約1週間後	確認中
目標	T2国内線の供用	・T1国際線・国内線の部分供用 ・T2の全供用	・T1の全供用 ・国際貨物の供用
概要	・二期島離着陸施設 ・T2国内線ターミナルビル ・T2国際線ターミナルビル (9月8日一部供用開始)	・A滑走路、誘導路、エプロン一部 ・T1メインターミナルビル (4F：南側チェックイン機能 CIQ機能) ・T1南ウイング	・A滑走路・誘導路・エプロン全面 ・T1メインターミナルビル (4F：全チェックイン機能) ・T1全体 ・国際貨物地区

T1建築付帯設備

No.	Date (予定)	7 th September	After 1 week (約1週間後)	ポイント
1	9/7	照明：一部停電中 防災：一部水損 空調：一部水損 ES：監視設備水損 EV：監視設備水損 サービスレーン：排水完了	照明：使用可能 防災：使用可能 空調：一部復旧作業 ES：使用可能 EV：一部復旧作業	【照明・防災】 9/20に本復旧見込 【空調・ES・EV】 排水完了、現地調査を開始

電源回復状況



BHS

No.	Date (予定)	7 th September	After 1 week (約1週間後)	ポイント
1	9/7	T1国際線 ・出発系コンベヤ 南側：使用可能 北側：調査中 ・到着系コンベヤ⇒復旧作業中 T1国内線⇒使用可能	T1国際線 ・出発系コンベヤ 南側：使用可能 北側：復旧作業中 ・到着系コンベヤ⇒復旧作業中 T1国内線⇒使用可能	・浸水部分の電気部品、制御装置の清掃、交換 ・各システムの動作確認

スポット

No.	Date (予定)	7 th September	After 1 week (約1週間後)	ポイント
1	9/7	使用可能なスポット数 国際線南ウイング(12/15) 国内線中央(6/11) 国際線北ウイング(調査中/15) Total (18/41)	使用可能なスポット数 国際線南ウイング(12/15) 国内線中央(9/11) 国際線北ウイング(調査中/15) Total (21/41)	南側復旧に注力

給油施設

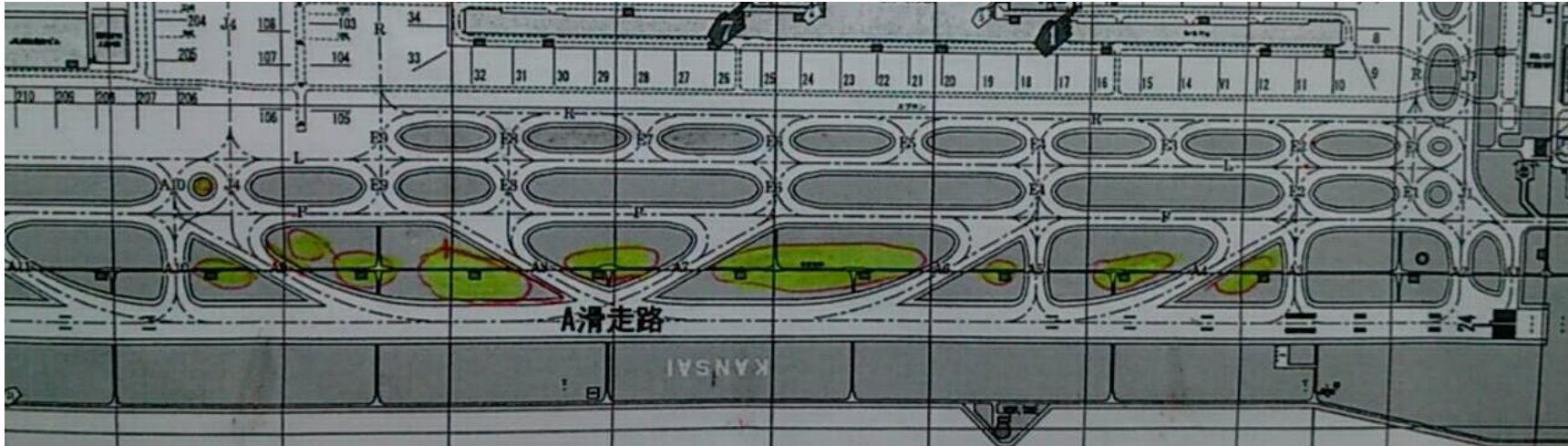
No.	Date (予定)	7 th September	After 1 week (約1週間後)	ポイント
1	9/7	・貯油タンク施設：使用可能 ・ハイドラント施設 ・1期島：点検作業中 ・2期島：使用可能 ・オイルタンカーバース：一部水損箇所の復旧	・貯油タンク施設：使用可能 ・ハイドラント施設 ・1期島：使用可能 ・2期島：使用可能 ・オイルタンカーバース：使用可能（一部復旧作業継続）	【1期島】 ・点検等を実施予定 ・施設安全性と燃料品質の確認

A滑走路・雨水排水

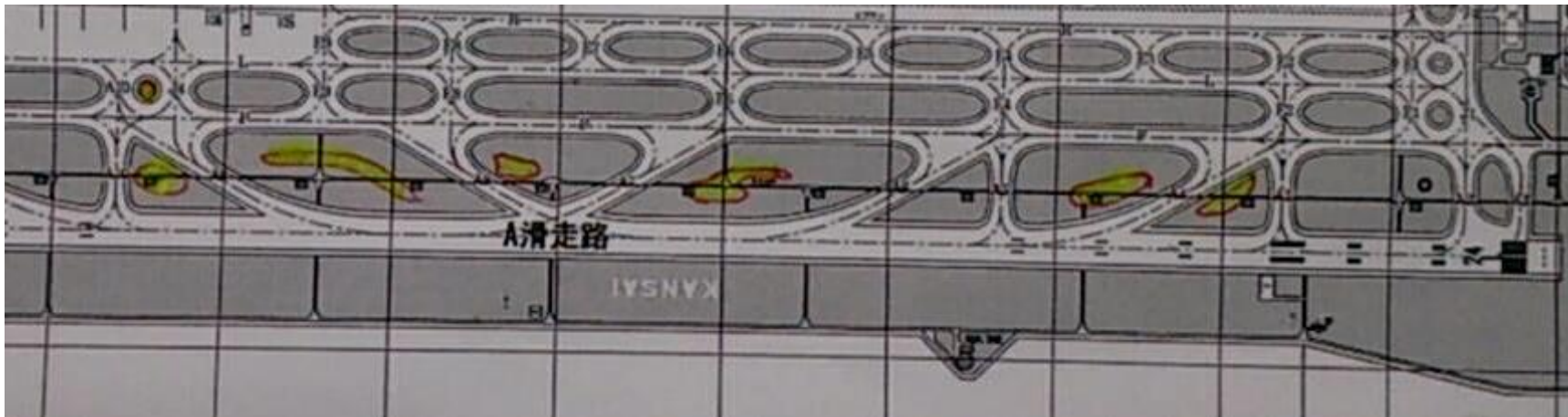
No.	Date (予定)	7 th September	After 1 week (約1週間後)	ポイント
1	9/7	【排水設備数】 7/10：稼働中 3/10：復旧作業中（近畿地方整備局からのポンプ車支援にて排水） 【A滑走路・航空灯火等】 ・舗装面：使用可能 ・灯火等：一部水損	【排水設備数】 7/10：稼働中 3/10：仮設電源で復旧 【A滑走路・航空灯火等】 ・舗装面：使用可能 ・灯火等：使用可能	【排水ポンプ】 ・仮設発電機手配済み 【A滑走路・航空灯火等】 ・スイパーにて表面清掃中。成田空港からもスイパーを借りて清掃予定（8日夜到着見込） ・不点・破損灯火の復旧、電源キュービクルの復旧等

A滑走路・排水

Sep.
7th PM

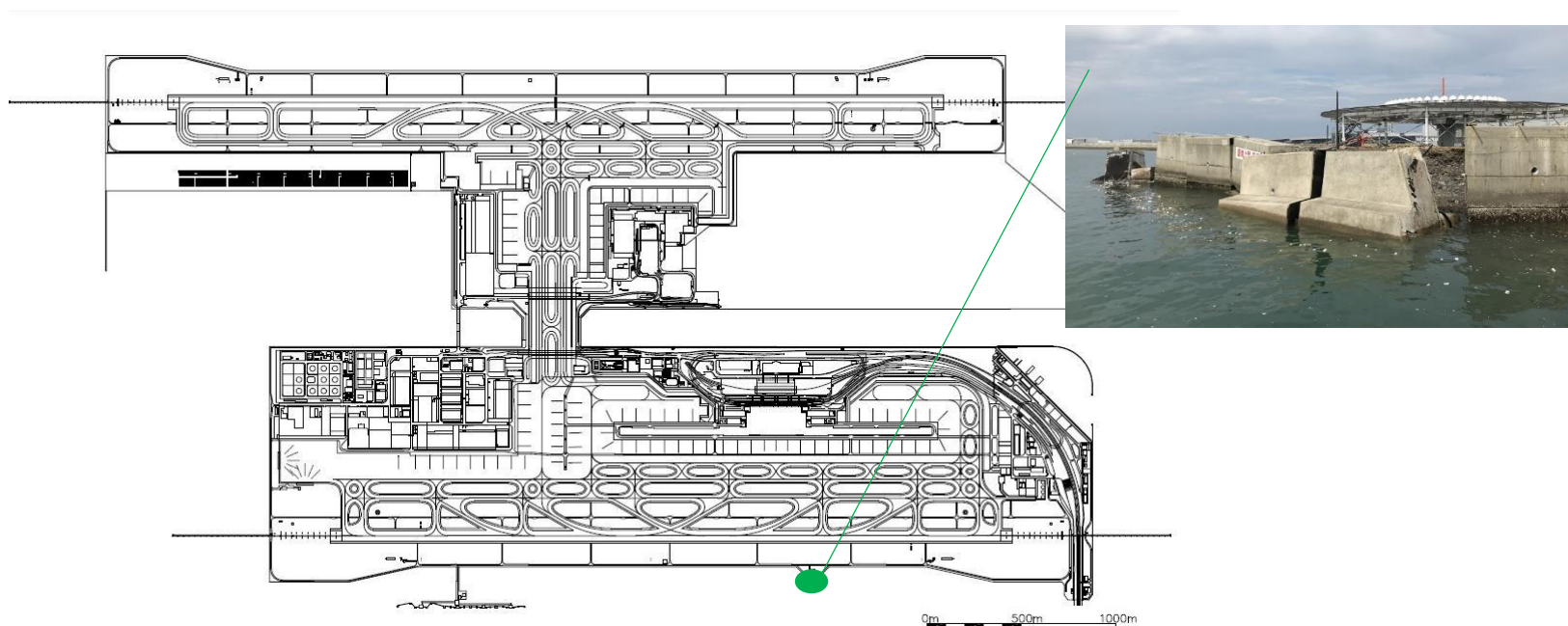


Sep.
8th AM



護岸

No.	Date (予定)	7 th September	After 1 week (約1週間後)	ポイント
1	9/7	一部（下記図）護岸倒壊	土嚢・フィルターユニット設置により仮復旧	



クリーンセンター

No.	Date (予定)	7 th September	After 1 week (約1週間後)	ポイント
1	9/7	・ガスの復旧を受け、6日からごみ焼却を開始。		

浄化センター

No.	Date (予定)	7 th September	After 1 week (約1週間後)	ポイント
1	9/7	使用可能		